

第12回 ATP 上方番組 大賞

「ATP上方番組大賞」は、関西製作者のモチベーション向上、若いクリエイターの情熱を応援することを目的に、2013年に創設されました。第12回は、45エントリーから「番組部門」「短編・コーナー部門」より優秀賞10作品、「新人部門」から新人賞4名が選ばれました。受賞式は、2025年1月29日(水)に多くの方々にご来場いただきMBSちゃやまちプラザステージにて、グランプリと最優秀短編賞、最優秀新人賞の発表、表彰を行いました。

2025年1月29日
主催：一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟
後援：大阪府／大阪市／公益財団法人 関西・大阪21世紀協会



本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)の
共通目的基金の助成を受け実施されています。

ATP

Grand Prix & Excellence Award

優秀賞 & グランプリ

情報・バラエティ

せーの!で編集してみた

製作会社:メディアブルポ 放送局:NHK大阪放送局

プロデューサー	赤星 渉(メディアブルポ)
演出	藤原 慎平(メディアブルポ)
演出補	若松 雅也(メディアブルポ)
ディレクター	東 啓慈(メディアブルポ)・山根 郁摩(メディアブルポ)
アシスタントディレクター	中西 真由子(メディアブルポ)



※敬称略

番組概要

違ったジャンルで活躍する編集のプロたちが【全く同じ映像素材を「せーの!」で編集】すると、どんな作品が出来上がるのか? 動画編集が身近になった現代ならではの「編集だけ」に特化した実験バラエティ!



©NHK

受賞者コメント

共通の素材はどうする?素材の長さは?こんな企画を受けてくれるクリエイター見つかる?など数々の問題をかかえる中、「この番組はたぶんおもしろなる」とスタッフ同士で言い聞かせながら何回も会議をしました。一流クリエイターたちの取材では、同じ制作者としてためになる多くのことを学ばせていただきました。そんな番組がグランプリをいただいたこと、とてもうれしく思います。番組制作に関わっていただいたみなさま、編集のバイセンのみなさま。ありがとうございました!

メディアブルポ 企画・プロデューサー 赤星 渉



審査講評

映像制作が誰でもできるようになった今こそ必要とされていた企画。個性を爆発させた4人のクリエイターの組み合わせも、スタジオのMC3人も素材出演のやす子さんも、すべてが絶妙でした。シリーズ化に期待しています。



投票者からのコメント

※一部抜粋

●斬新な発想でワクワクしながら見ました。同じ「材料」を渡しても、各クリエイターの個性や調理法で「料理」がこんなに変わるのか! テレビ的なゴールにはならないかもしれないが、新人Dと昭和(平成初期)のD、ドキュメンタリーDとバラエティDでどれくらい違いが出るかも見てみたい気がしました。●編集に注目したレアな作品でした。番組としては楽しく見られる作りではありましたが、制作側として見れば、編集によって伝えたいこと、制作者の意図、表現方法によって視聴者側のとらえ方も全く変わることには感嘆と共に、危うさも感じることができました。あらためて最終作業となる編集作業の重要さが感じられる作品で、着眼点の面白さが感じられました。●力作ぞろい、どれも甲乙つけがたいのですが、「編集に特化した番組」という目のつけどころに新しさがあります。1億国民総YouTuberという状況で、同じ素材を使っても、こんなに出来上がりに違いが出るのかということとは大きな発見でした。NHK らしからぬ番組で良かったです。●視聴者が日常的に使っているものをクリエイターが扱うことでどう変わるか、参考書のような番組に仕上がっていたと思うが、飽きずに最後まで興味を持ってみるのができた。クリエイティブな部分をちゃんと聞かせて、こういった感情で見ると良いかが整理できており、バラエティー要素とのバランスも良かったです。

投票校からのコメント

※一部抜粋

●テーマがまず斬新。それぞれの映像の異なる面白さに加え、編集者たちのこだわりや意図も聞けて新鮮だった。編集に興味がない人でも親しめる内容で、今時のカラフルなセットも若い自分たちの目を引いた。●同じ素材をそれぞれの分野での専門家に編集させる企画が面白かった。視点を変えれば作品の可能性が無限に広がるというクリエイティブの面白さが感じられる。また、動画制作の裏側を見せることは、SNSの普及で動画を見るのが日常になった現代人のニーズに合っている。●普通の人々からの発信が溢れる中で、他者から関心を持ってもらうツールとして編集テクニックが取り上げられており、興味深く拝見しました。また、やす子さんの個性もありますが、女性の定型的なイメージに偏らず、とても良い印象を持ちました。●誰もが動画配信に関心を持つ時代。編集の技術も身近になりましたが、そのノウハウはなかなか分かりません。どう料理したら面白い映像になるのか、それぞれの編集作家がセンスを発揮して番組にするというアイデアがすばしかったです。●今までに見たことが無い番組の企画で新鮮で面白かった。有名芸能人だけではなく裏方を出す事によってこんな仕事もあるのだと思わせてくれる番組であった。またプロが制作している裏側を見る事ができないので勉強にもなりました。

Best short story award

最優秀 短編賞

情報・バラエティ

かんさい情報ネットten. あなたの味方！お役に立ちます！ 愛する妻に結婚36年目のプロポーズ

製作会社：ブリッジ 放送局：読売テレビ

プロデューサー 三好 順作(読売テレビ放送)・牛丸 善弘(ブリッジ)
ディレクター 堀田 真範(ホーリーズエンタープライズ)
アシスタントディレクター 志水 文哉(ブリッジ)・小林 圭太(ブリッジ)・船引 大督(ブリッジ)



※敬称略

番組概要

ニュース番組「かんさい情報ネットten.」の木曜日に放送中の当コーナーでは、浅越ゴエさんが視聴者からのお悩みや困りごとの解決をお手伝いさせていただき、皆様のお役に立ちたいというコーナーです。



受賞者コメント

「病から奇跡の復活を果たした妻に結婚当時できていなかったプロポーズがしたい」。68歳の依頼者からの願いを実現すべく、依頼者の思いに共感し、全力でサポートしていただいた協力先の皆様、妥協を許さず番組作りに携わっていただいた制作・技術スタッフ、そして依頼者に温かく寄り添ってくれた浅越ゴエさん、すべての人が「依頼者の味方」になっていただいたおかげで、多くの人の心に響く作品になりました。恥じらいを捨て、奥様への愛をテレビの前で堂々と貰ってくれた依頼者の姿に心より感謝致します。

ホーリーズエンタープライズ ディレクター 堀田 真範



審査講評

夫婦が互いを想う気持ちが伝わる感動的な作品です。サプライズを成功させるための入念な準備が功を奏し、出演する夫婦は幸せを感じ 視聴者はドキドキしながら最後まで楽しみました。これぞテレビの力ではないでしょうか。



投票者からのコメント

※一部抜粋

●単純に、人間っていいな！家族っていいな！と思わせてもらいました。プロポーズシーンの間も絶妙で、ご主人の人物が「間」から溢れ出ていました。そして、まるで自分のことのように緊張し、感情移入できました。●これこそ大阪の「素人主役」のテレビ、という昔ながらのわかりやすい構成で、午後帯の高齢者主体の視聴時間にぴったりだと思いました。アラ還以上のおさんにはたまらん内容でした。素直に泣けた。●わざと遠回りするような演出がなく好感が持てました。有名ホテルにあそこまで協力してもらえたのも、ディレクターの人物や熱い思いがあったからではないでしょうか。依頼者家族の人物が良かった運も、ディレクターの実力だと思います。●夕方ニュースのバラエティ枠として視聴者層にもマッチした見事な番組だったと思いました。依頼者のユーモラスな素顔と、打って変わって感動的なプロポーズ。緊張と緩和が見事に映像表現されていて引き込まれました。●「お役に立ちます！」様々な依頼を解決するこのコーナー。関西人の「おせっかい」がある意味良い調味料となっている。全編にほんわかとした演出家の才があふれた仕上がりになっていた。

投票校からのコメント

※一部抜粋

●結婚生活の中で忘れがちな感謝や愛情を伝える大切さを再認識するきっかけを与えてくる感動的な企画だと感じました。当たり前になってしまう関係に改めて向き合うことの大切さ、夫婦の愛が自然で温かく多くの人に共感を与えるととても良い内容だと感じました。●話の筋が通っていて、笑いも感動もあった。リポーターが随所で視聴者が疑問に思うところを突っ込んでくれたことで、ストレスなく見られた。また、その後の経過まで追いかけていたこともポイントが高かった。●「私ってプロポーズしてもらってない」と言われたことを覚えていて、いまさら恥ずかしいと言っているものの一生懸命思いを伝えている旦那様を応援する気持ちになった。プロポーズを受けた奥様の素直な「ありがとう」が感動的。●2人の関係性が短い映像の中に詰まっており数分で感動できるVTRができてとても勉強になりました。ホテルの協力も良く、制作としてこんなに素敵な場面を作りたいと思いました。●依頼の段階でも魅力的な企画だったとは思いますが、依頼人の方と浅越ゴエさんとのやり取りを通して、どうすればより素晴らしいプロポーズを用意できるのかをチームで考えつつ、より良い流れを実現させていった映像だからこそ、非常に感動しました。

Best Newcomer Award

最優秀 新人賞

おお くら あき よし

大倉 彬義 (ダイメディア)

ドキュメンタリー7 人と街を繋ぐ 日本一長い路線バス

放送局: テレビ大阪

プロデューサー 児島 太一 (ダイメディア)



※敬称略

番組概要

奈良県橿原市から和歌山県新宮市まで全長169.9キロを6時間半かけて走り抜ける日本一長い路線バス。このバスに密着し、24年運転を続ける間野泰博さんや乗客たちの人間ドラマを描くドキュメンタリー。



受賞者コメント

ニュース番組の特集として取材したものが、30分枠の「ドキュメンタリー7」で放送させて頂くことになり、さらにこのような賞を頂くとは、バスに揺られていた時は全く想像していませんでした。テレビ大阪報道部で働いて6年目になりますが、取材、撮影、編集を一人でこなす先輩方を見てきて、これほどマンパワーが求められる場は無いと感じています。それだけに、今回の受賞を聞いた周りの皆さまから「あの大倉が!」「おめでとう!」などと声をかけて頂き、本当に嬉しい気持ちになりました。最優秀新人賞は、ご指導いただいたテレビ大阪報道部の皆さまのおかげです。これからもこの気持ちを忘れず、精進したいと思います。

ディレクター 大倉 彬義



審査講評

日本一長い路線バスに乗ったお客さんそれぞれの想いを感じながら、見ているうちに一緒に旅をしている気分させてくれました。個人的な話もさりげなく引き出すディレクターの手柄がにじみ出た秀作です。

投票者からのコメント

※一部抜粋

●密着取材の度合いを感じました。絵替わりの数は少なかった感はありませんでしたが、長年勤務する運転手や乗客たちの人間ドラマが良く描かれていたと思いますし、よく考えられた構成になっており、制作者の粘り強くこの業界で頑張ってきた実力を感じられる作品になっているように思いました。●レギュラー番組やコーナーと違い、特番、なおかつドキュメンタリーとなれば、御承知の通り、そこにかかる時間や苦勞、悩みは何倍にもなります。路線バスという許可取りが大変で、走りの客観映像にも苦勞する素材に果敢に向かった姿勢に感服です。●テーマはありがちかもしれないですが、心地いい体温の番組でした。バスの乗客という一期一会な人を切り抜くことで、押し付けがましさのない距離感が良かったです。途中で降りた限界集落目当ての若者を追わないのも、あくまでテーマは「一便の路線バス」というのが際立っていて良かったです。●予算、時間、人手の厳しい中で、過不足ない映像を押さえていたこと。特別な登場人物がいるわけではないものの、素朴な路線バスに乗車する人々の顔が垣間見れた。●日本一長い路線バスを軸に、それに関わる運転手や土地、乗客などの背景を丁寧に取材できていました。30分間をバスの始発から到着というタイムラインにしたところもとても見やすく、作品を見終わった後にはまるでそのバスに乗ったかのような気分になる爽快感もありました。●まず、こんな路線バスがあったことに驚きです。6時間以上もひとりの運転手で運転することもびっくりしますが、そのバスに外国人や、地元の人、いろんな事情があってわざわざ乗りに来た人がいたりして、ドラマがあることも興味深かったです。●人と街をつなぐ唯一の公共交通機関である路線バスに粘り強く密着していることを評価します。実際のOAをリアルに視聴してすごく興味深い作品で食い入るように視聴したことを覚えています。●やりつくされたネタだな...と思って見始めたら、いつの間にか同じバスに乗っている感覚で最後まで見続けた。何があるこのバスに乗っているのだろうと他の人を見ると、教えてくれた。まさに、「追体験」を強く感じられた良作。



番組部門 関西の製作会社、製作者が製作した番組やネット配信番組が対象

情報・バラエティ

とらぶる?トラベル!2023



製作会社 クラッチ、
放送局 関西テレビ
プロデューサー
木村 弥寿彦(関西テレビ)
チーフディレクター
吉部 珠末(クラッチ)

ますだおかだが師匠と慕う桂ざこばへの師匠孝行も兼ねて2014年から始まった年末恒例の旅番組。10回目となる今回はナジャ・グランディーバとともに4人で小豆島を巡る。笑いあり、ハプニングありの予測不能な珍道中。

◆受賞者コメント

10年もの間同じ番組に携われたこと自体貴重な経験で、スタッフみんなで愛情を持って取り組みました。何よりこの賞は出演者の皆様の温かい空気感があってこそ!本当にありがとうございました。

クラッチ、チーフディレクター 吉部 珠末



審査
講評

出演者を含めたスタッフ全員の「丁寧に作り上げよう」という姿勢と、ざこば師匠への深い愛とリスペクトが随所に感じられます。上方芸能界の至宝であるざこば師匠の人柄が伝わる、後世に残すべき価値あるシリーズです。

情報・バラエティ

発見!仰天!!プレミアもん!!!土曜はダメよ!
よみがえれ!赤の他人は誰だ!?
前代未聞!過去問再試験スペシャル



製作会社 レジスタエックスワン
放送局 読売テレビ
プロデューサー
高橋 宏輔(読売テレビ放送)
ディレクター
滝村 展宏(レジスタエックスワン)

読売テレビで毎週土曜日夕方16:00~17:00で放送されている関西ローカルのバラエティ番組。その中の1企画。家族の中に1人だけ赤の他人を入れて、それは一体誰なのか?推理するクイズコーナー。

◆受賞者コメント

過去のVTRをそのまま何もせずもう一度、スタジオにかける前代未聞の企画ですが、コロナ禍でロケができない中、知恵を絞った結果。そこに、家族のその後を入れて新たなパッケージ感を演出。20年以上続く長寿番組だからこそ、できる企画だと思いました。

レジスタエックスワン ディレクター 滝村 展宏



審査
講評

過去のVTRを使って新たに番組として成立させる発想が素晴らしい。継続性と一貫性という地上波テレビの価値を存分に発揮し、家族も出演者もスタッフも全員が親戚のような関西らしい温かい距離感が伝わります。

情報・バラエティ

人のスマホをのぞきたい



製作会社 ytv Nextry
放送局 読売テレビ
プロデューサー
田中 瑛人(読売テレビ放送)
演出・プロデューサー
小野 謙馬(ytv Nextry)

日本テレビ・中京テレビ・読売テレビの3局が、共通のタイトル・テーマで制作した3夜連続特番。街行く人々にスマホを見せてもらい、その人の人生を知る「スマホのぞき見バラエティー」。

◆受賞者コメント

今回、「マスイン」という言葉は関西でしか通用しないことを知りました。我々関西のTVディレクターが泥臭く頑張ってきた、関西流の「マスイン」演出で、このような賞を受賞できたことを大変誇りに思います。

ytv Nextry 演出・プロデューサー 小野 謙馬



審査
講評

系列局との競い合いが制作者のやる気と撮れ高に繋がり、関西人のクセツヨが濃縮されていました。亡き夫のスマホを復活させてメッセージを送るシーンには心を揺さぶられました。スマホをのぞく突撃取材で夫婦の絆まで迫れたのはすごい。

情報・バラエティ

ツッコミたくなる事件簿 浜田新聞社



製作会社 ytv Nextry
放送局 読売テレビ
プロデューサー
中埜 勝之(読売テレビ放送)
演出・ディレクター
辻 章悟(ytv Nextry)

実際に起こった「ちょっとおバカな事件」を一流俳優でドラマ化。そんな、ちょっとツッコミたくなる事件を扱うのが、今回の舞台となる「浜田新聞社」。浜田雅功編集長筆頭に、個性豊かな記者達とそこに割って入る銀行の融資担当松本若菜が加わりコント展開!ドラマとコントを行き来する、新しい事件モノバラエティ番組。

◆受賞者コメント

幼い頃からダウンタウンを観て育ってきた中で、出演者の浜田雅功さん含め皆さんとコントとドラマを作れた濃厚な時間は、私を含めた全スタッフの経験値を高める素晴らしい経験となりました。さらに、ATP上方番組大賞の優秀賞も頂くことが出来、「やっぱりテレビ作るの楽しいな!」とスタッフ一同感動しております。この度はありがとうございました!

ytv Nextry 演出・ディレクター 辻 章悟



審査
講評

浜田さんのコントを久しぶりに観られたレア感と、一流俳優陣のキャストイングに脱帽しました。アドリブコントと再現ドラマが共にクオリティ高く、ドラマの間に入る出演者の感想も一緒に見ている気分で、見所満載でした。



短編・コーナー部門 関西の製作会社、製作者が製作した20分以内の短編番組やコーナー部門、ネット配信番組が対象

ドキュメンタリー

アオハル最前線
氷上西高校硬式野球部

「もう一度夏の舞台へ!女子マネジャーの奮闘」



製作会社 エー・ビー・シー リブラ
放送局 朝日放送テレビ
プロデューサー
池上 義博(朝日放送テレビ)
ディレクター
井浦 琢朗(エー・ビー・シー リブラ)

2023年10月、兵庫県丹波市にある氷上西高校にはマネジャー1人しか所属していない廃部寸前の野球部があった。「もう一度夏の大会のベンチに入りたい…」部員勧誘に励むマネジャーの9か月間に密着。

◆受賞者コメント

選手0人、マネジャー1人だけという厳しい状況にも関わらず、部活動を続けた主人公の頑張りがあったからこそこの作品だと思います。春になって待望の新入部員が入った時は自分のことのように嬉しかったです。

エー・ビー・シー リブラ ディレクター 井浦 琢朗



審査
講評

1人で奮闘するマネジャーに寄り添い、不安や喜び、汗、涙、その表情を逃さず描いていました。演出できない結末に向けて「やり続けることが大事」という最後の一言に説得力を持たせた構成も素晴らしい。

ドキュメンタリー

newsおかえり 特集コーナー
人情腹話術おじさん



製作会社 東通企画
放送局 朝日放送テレビ
プロデューサー
河井 誠司(朝日放送テレビ)
特集デスク
東野 裕(朝日放送テレビ)
ディレクター
北村 崇(東通企画)

和歌山県に、保育園や小学校に向き、ボランティアで腹話術を披露する男性がいます。宮本敏企さん71歳。宮本さんを密着取材することで、第2の人生をどう生きるか?を考えさせられるVTR。

◆受賞者コメント

「この企画10秒で、親子の思いが伝わった。」4年半前、何気なく使った映像を「いいよ!」って熱く熱く解説してくださいました。僕はABC東野さんと出会ってドキュメンタリーを学べました。だから今も、熱く取材ができます。

東通企画 ディレクター 北村 崇



審査
講評

子どもたちに大人気の腹話術師のおじさんの魅力と信念。我が子への愛情を優しい目線で丁寧に描いていました。主人公の「明るさ」が全体から感じられ、最後の歌で完全に心をつかまれました。

ドキュメンタリー

かんさい情報ネットten.
88歳の現役ディレクター
全力投球で挑む我が人生



製作会社 泉放送制作
放送局 読売テレビ
プロデューサー
平村 香月(読売テレビ放送)
ディレクター
三好 章仁(泉放送制作)
撮影
小林 耕太郎(読売テレビ放送)
編集
望月 公介(ytv Nextry)

およそ2年間の密着取材を経て完成にこぎつけた業界歴60年以上の超ベテランディレクター取材活動の日々。この作品にはテレビ制作の醍醐味がたくさん詰まっている。

◆受賞者コメント

この度の受賞は率直にうれしく思います。ありがとうございました。88歳と54歳、2人合わせて142歳のDが共に悩み苦しみ完成させた人間ドキュメンタリー。テレビには無限の可能性があるからこそ100%の完成はないし、いつまで経っても奥が深い。そんなことを改めて感じることでできた作品でした。

泉放送制作 ディレクター 三好 章仁



審査
講評

テレビ番組を知り尽くした大先輩を取材するとなると、手前味噌に見えてしまいそうになるところを、深く入り込みすぎず淡々と描いている。それでいて主人公に対するリスペクトを感じさせる視点に好感を持ちました。

情報・バラエティ

エコリングTV
YouTubeチャンネル ショート動画



製作会社 レジスタエックスワン
配信 YouTubeチャンネル
プロデューサー
古田 隆文(レジスタエックスワン)
ディレクター
西 英太郎(レジスタエックスワン)

◆受賞者コメント

企業様の認知拡大を目的にしつつ、その企業様が発信する意味があるものを日々考えております。そんな中でバズが生まれ、登録者が増えたことはもちろん、何より企業様に喜んでいただくことが一番のやりがいです。

レジスタエックスワン ディレクター 西 英太郎



審査
講評

長編は敬遠されやすいという、YouTubeの特性をよく活かし、そこに番組製作で培った企画力・構成力・演出力を注ぎ込んだ、とても興味深い作品です。今後のショート動画の可能性にも期待したいと思います。

買取専門店「エコリング」の公式YouTubeチャンネルで投稿するショート動画です。再利用・リユースを通じてお役立ち・ライフハック情報を発信しています。

新人賞

関西で活躍する若手製作者の作品を対象に、その個人に贈られる賞。

※敬称略。 ※受賞作品の掲載はエントリー順となっています。



やまぎき かい と 山崎 凱斗 (ダイズ)

情報・バラエティ

コヤブのみやげ話

～街ブラのオチ、先にしゃべらせてもらいます～



放送局 テレビ大阪
プロデューサー
三好 直(テレビ大阪)

小藪千豊と天童よしみが、ロケを終えた直後に互いの「みやげ話」を披露。その話をきっかけに実際のロケ映像へ展開する…前代未聞！オチを先に聞いてからロケVTRを見るという新感覚の街ブラ番組です。

◆ 受賞者コメント

映画、音楽、お笑い…私の好きなものを沢山詰め込んだ作品がこの様な形で評価され、大変光栄に思います。入社6年目でゴールデンタイムの演出を担当させて頂き、貴重な経験をありがとうございました。もっと精進します。

企画・演出 山崎 凱斗



審査 講評

見慣れた風景の有馬温泉がとても新鮮な場所に見え、小藪さんと天童さんの素がとても自然に出ていました。ぶらり旅の旅情感がとても心地よくトークで先にオチを言うのも斬新な作品でした。

ふるく ぼ けん と 古久保 謙人(クリエイティブ・ジョーズ)

情報・バラエティ

探検ファクトリー

大型テーマパークの裏側探検
リアリティを生み出す技を大公開！



放送局 NHK
プロデューサー
是洞 茂樹(NHK大阪放送局)
長村 大介(NHKエンタープライズ)
清水 邦孝(JAWS)

魅力あふれる工場や工房を漫才コンビ・中川家とすっちーが探検する工場見学バラエティ。エンタメを生み出し続ける大阪市のテーマパークを探検。客のいない深夜に、非日常世界を作るプロの活躍に迫る。

◆ 受賞者コメント

番組制作の多くを学ばせていただいた『探検ファクトリー』で名誉ある賞をいただき、大変光栄です。受賞を励みに、これから始まるディレクター人生を歩んでいきますので、今後ともよろしくお願いたします。

ディレクター 古久保 謙人



審査 講評

テーマパークのあまり見られない裏側に潜入し、興味深いポイントを丁寧に取材できていました。華やかに見える仕事だけでなく、裏方が支える大切さがしっかりと伝わってくる作品でした。

ひとみ なつき こばやしひなた 人見 夏輝・小林 陽(エー・ビー・シー リブラ)

情報・バラエティ

大阪芸術大学グループpresents
マーチングブラボ! 2023 音楽に希望をのせて
滝川第二高校 四條畷学園高校
大会までの道のりに密着



放送局 スカイA
プロデューサー
藤田 真隆(スカイA)

“吹奏楽”と“パレード”が一体となった“マーチング”全国大会では、地方予選を勝ち抜いた精鋭たちが一糸乱れぬ演奏演技を披露する。目指すは「金賞」。高校生たちの青春をかけた「挑戦」に密着。

◆ 受賞者コメント

このような名誉ある賞をいただき誠に光栄に思います。プロデューサー、チーフディレクターのお二人のお力添えがあつてのこの賞だと思っております。いただいた賞に恥じぬよう、今後も励んでいきたいと思っております。

ディレクター 人見 夏輝



審査 講評

マーチングへの愛がひしひしと伝わってくる大作2本！アプリを使ったフォーメーション確認など、現代的な工夫に感心しました。地道な練習の細かい部分がよく撮れていて、息を合わせる難しさがよく伝わってきました。両校とも圧巻の演奏で感動しました。

ディレクター 小林 陽



第12回ATP上方番組大賞 総評



第12回ATP上方番組大賞は45のエントリー、受賞式には171人の列席があり、盛大に執り行われました。

新人賞4作品は、企画力と完成度はまさにプロフェッショナル、最優秀新人賞を受賞したダイメディア・大倉彬義さんの「人と街を繋ぐ 日本一長い路線バス」は、運転手と乗客たちの人間ドラマが丁寧に描かれ、ロードムービーのような余韻を感じました。

短編・コーナー部門の優秀賞4作品は、見る者に強い印象を与え、最優秀短編賞を受賞した「かんさい情報ネットten. アナタの味方！お役に立ちます！愛する妻に結婚36年目のプロポーズ」は、過去のVTRを使って新たに番組を成立させ、家族も出演者もスタッフも全員が親戚のような関西らしい温かい距離感が伝わりました。

番組部門の優秀賞4作品は、時代のニーズを巧みに取り入れ、グランプリの「せーの！で編集してみたら」は、クリエイターの個性とクリエイティブがほとばしり、映像制作が民主化された今こそ必要な企画でした。

テレビ業界は、いま、激震の中にあります。大切なのは、地域から、きちんと取材して、人の心を動かす映像作品を生み出していくことだと再確認できました。

第12回ATP上方番組大賞 審査委員長
脇浜 紀子



受賞式の様子

グランプリは誰の手に!?

楽しみです。

司会
大吉 洋平さん
(毎日放送)

司会
上原 美穂さん
(テレビ大阪)

1 第12回上方番組大賞
受賞式、開幕です



ATP 関西センター長
橋 庸介



審査委員 鹿島 我より 発表

4 続いて、この中から
最優秀短編賞に選ばれたのは...

ホーリーズエンタープライズ
堀田 真範さん

読賣テレビ放送
三好 順作さん

ありがとうございます!!

最優秀短編賞

かんざい情報ネットten.

アナタの味方! お役に立ちます!
愛する妻に結婚36年目のプロポーズ

5 グランプリの発表です。



審査委員長 脇浜 紀子より 発表

やりました!!

2 まずは、新人賞の
みなさまです。



八見 夏輝さん・小林 陽さん(エー・ビー・シー リブラ)



古久保 謙人さん(クリエイティブ・ジョーズ)



山崎 凱斗さん(ダイム)

3 続いて、この中から
最優秀新人賞に選ばれたのは...



審査委員 西村 麻耶子より発表

最優秀新人賞

大倉 彬義さん(ダイメディア)

めっちゃ嬉しいです!!!!!!

会場には、投票校7校から
教授や学生さん約30名が
来場しました!



メディアプルポ
藤原 慎平さん

やった~!!!!!!



メディアプルポ
赤星 渉さん

審査委員長 脇浜 紀子より
ごあいさつ

グランプリ

せーの! で編集してみたら

どれも関西らしい
すばらしい作品でした!!

理事長 福浦 与一より ごあいさつ

6 皆さま、おめでとうございます!
ますますのご活躍を期待しております。
これにて、12回上方番組大賞 受賞式
閉幕です!





第12回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント

【番組部門】 ※応募用紙を基に掲載

1 番組 ドラマ 放送局：NHK大阪放送局 製作会社：松竹撮影所

マニアさんと歩く関西 「大阪のビル・橋」編

●大阪の街の建築物・構造物の魅力を再発見できた。ドラマ部分のインテリアや雑貨のアレンジにもこだわりが行き届いている。光と色の表現もアーティスティックで極限までノイズを取り除いた映像美が印象的。●正直、私には新感覚過ぎて、どう楽しめばいいのか最後まで迷いがありました。ただ、関西のテレビ番組の枠でこのような作品作りが出来るのはとても貴重で、いろんなテーマで知らない世界をのぞき見たい。●どこにでもいそうな主人公の悩みと関西のマニアックな情報の調和が面白い。関西の歩き方、そして“楽しむ生き方”を再発見できたドラマでした。●階段を「かわいい」と言ったり、「橋は下から見上げないと良さが分からない」などマニアさんならではの表現や着眼点が面白かった。ドラマの続きとして観ているので、リアル部分もジャンプカット無しの編集の方が良かったのではと思いました。●綺麗な映像で大阪のビルや橋の魅力をマニアさんから伝えてもらえた番組でした。

2 番組 情報・バラエティ 放送局：毎日放送 製作会社：ダイズ

風さん桶さん たどった先に儲けの秘密が！

●今、人々が知りたいと思うトレンドとなっている事象をわかりやすく紹介している。「風さん」「桶さん」の掛け合いは子どもたちにも受け入れられやすいだろう。語り軸が何通りもあるので若干散漫な感じも。●風間さんの的確な視点とコメント、そしてスマートさが際立つ番組。いい意味で深掘りしないのが、見やすさに繋がっていると思うがテンポが単調なのでテーマによって強弱をつければもっと魅力が増す気がしました。●今のトレンドを別角度から切り込み「風を読むこと」の大切さを楽しく教えてくれる番組で、見終わった後「未来の生活」に前向きになれる番組でした。●『儲け』という切り口、キャラクターを進行役にするこ、オノマトペを多用したナレーション、視聴者目線の風間俊介というフィルターを通して、親近感を持てる構成などで、経済ネタを柔らかく演出している見やすく面白いと思いました。●経済番組なのに風さんと桶さんのキャラクターとテロップ演出や本人出演の再現ドラマで見やすく、タメになる情報がコンパクトにまとめられておりゲスト2人の役割が明確で内容に深みを与えてくれていた。

3 番組 情報・バラエティ 放送局：びわ湖放送 製作会社：ジェイワークス

宮川大輔のそれ知りたいヤツやーん！

●滋賀県域局ならではの地元密着街ブラ。視聴者投稿を元に予定調和なしに演者が街歩きを楽しんでいる。ロケで回りきれなかったところを後日アナウンサーがフォローしているのも良かった。地域メディアとして存在感を発揮できる番組。●時間がない割にオープニングに8分以上かけているのが面白い。紹介できなかったネタ部分もきちんとロケしているので彦根市情報として頭に残りました。●きっかけがSNSで口コミ・地元ネタを集めて訪ねて行き、その場所で聞き込みしていく手法は、ローカル感がより出ていいなと思いました。地元の開放感から子どももみたいにはしゃぐ宮川さん、大八木さん、三度さんが可愛く、いい表情が撮れていました。出演者が男性ばかりで、女性もいる方がより良くなるのではと思いました。●宮川大輔さんと三度さんと大八木さんが自然体で地元の方と交流していて、街ブラで彦根の魅力が十分伝わった。ただ、なぜロケ時間を3時間で行わなければならないのか？というところに疑問が残った。

4 番組 情報・バラエティ 放送局：毎日放送 製作会社：ブリッジ

土曜のあさはほめるちゃん 大阪・南森町編

●ロケ慣れしている天神橋筋商店街界隈の皆さんがごく自然に街ブラロケを受け入れ、那須さん復帰を喜ぶ声をかけてくるなど、街全体がファミリーという大阪の良さが伝わる。振り返りトークから始まるのも安心感と期待感の両方が感じられる。●「ほめるポイント」を探しながら街ブラするにはベストなすなかにしのお2人。観ている間、ずっとニヤニヤしながら、嫌な気分になることがない、土曜の朝にはうってつけの企画。まさに関西ならではの！●定番街ブラのロケと思いきや、なすなかさんのロケの上手さ。街で出会う大阪の人とのやりとりがバランスよく入り全く飽きませんでした。●割とオーソドックスな街ブラ番組ですが、「ほめる」というコンセプトと、素人いじりの天才なすなかにしの好感度高いキャラクターで、他にない企画になっています。早朝の番組で高齢の視聴者が多いでしょうから「脳トレ」を短くやっているのもいいなと思いました。●褒める事で町の魅力を紹介するという、見ていて誰も傷つけず情報も盛りだくさんの番組でした。

5 番組 ドラマ 放送局：朝日放送 製作会社：松竹撮影所

京都のお引越し

●アートでポジティブな空気感でドラマの中に取材パートが心地よく調和。鴨川の風景に加え、アンティークやインテリアのしつらえが美しい。観光地ではなく住む街としての京都の魅力を余すところなく伝えている。●あまりにも会話が自然すぎて、ドラマなのか？日常の切り取りなのか？不思議な感覚でした。なかなか言い表せない京都の魅力の一面を知ることが出来ました。●ドラマの中に京都の老舗店情報が程よく挿入。やはり京都は見応えがあり絵になる。インスタのようなカット割、絵のサイズがいい。●OAをリアルタイムで拝見していました。正門さんが演じる青年の漠然とした悩みが、深淵な京都の街と人と触れ合うことによって少しずつ癒されていく演出が素晴らしいと思いました。器屋さんは気になって実際に行ってみました。ドラマでリアルに行けるお店が登場するのがこの企画の真骨頂ですね。●柔らかな映像でゆったりと京都の暮らしをドラマの部分とリアルな店主とのやりとりで紹介していて面白い演出でした。

6 番組 ドラマ 放送局：讀賣テレビ 製作会社：ytv Nextry

はれのひシンデレラ ウェディングドレスを日本へ！ある女性の挑戦

●主人公の桂由美さんと打ち合わせを重ねての制作ということで、伝記物語として説得力と見応えのあるドラマ。実力派の俳優陣とご本人監修のドレスがドラマに厚みを出している。●在阪民放局の大阪でのドラマ製作の場がほとんどなくなった中、この壮大な作品の製作がされたことに勇気もらいました。映画「あまロック」もMBS企画さんが大阪で製作され、ドラマ製作の場が増えればと思います。●桂由美さんの半生がコンパクトに要約された展開で偉業がよくわかりました。スタッフが本格的なドラマ初挑戦ということですが、だからこそユニークで攻めたカット割りが活きていると感じました。大病の父の為に1か月でドレスを作るエピソードは号泣しました。●丁寧にドラマで桂由美さんの人生が描かれていた。お母さんとの関係や結婚についてのエピソード、ウェディングドレスに対する思いなどが伝わる秀作でした。

7 番組 情報・バラエティ 放送局：毎日放送 製作会社：MBS企画

Aえ!!!!!!るこ 関西を盛り上げろ! 全力調査バラエティ

●通天閣バンジーの怖さがよく伝わった。実際飛んでいる映像はそうでもなかったような。Aえ! groupのファンには語り継がれるコンテンツ。●番組のテーマ「何を調査し、その結果がどうだったのか？」が少し分かりづらかったです。ただ、バラエティ番組なので、「誰も飛べなかったのでも怖かった!」でも良かったと思う。(見逃していたら、ごめんさない…)●バンジーを飛ぶ?飛ばないだけで見るのができた。「Aえ! group」という勢いあるキャラクターの存在を再認識しました。●正門さんが奈良でのバンジーは飛べたのに通天閣では飛べず、その恐ろしさが伝わりました。追加ロケで達成できた構成には納得です。全力調査バラエティならメンバーが何故そこまでギブアップするのか、他のバンジーは飛べるのに通天閣では飛べない理由を追究して欲しかったです。●通天閣の新アトラクションを体験する一瞬を捉えるために色々な角度のカメラでバンジージャンプ瞬間を捉えようとしているのが良かった。

8 番組 情報・バラエティ 放送局：毎日放送 製作会社：MBS企画

日本の未来を占う NEWSショー キャスター渋谷凧咲と5人の解説者

●実験的ニュース番組として意欲的な試み。コメンテーターが渋谷さんに丁寧に解説をしようとすることで視聴者にもわかりやすくなった。コメンテーター陣の普段見せない素顔も引き出していた。●「私も一緒に勉強します」というキャスターは多いが、渋谷さんは本当に等身大の感覚、素直な考えが出ていてナイス・キャスティング。また、そんな渋谷さんに解説者も自然と平易な説明をするようになり、普段とは違うコメントが聴けたのもよかった。●こうした制作バラエティと報道の融合的な番組が今の時代に求められていると思う。等身大のキャスターが素晴らしいと思いました。●誠実に自分の言葉で話そうとしている渋谷さんに好感を持ってました。画面左下のテロップの動きとタイプ音SEが大きく、気になってしまいトークの邪魔に感じたのが残念でした。●今抱える日本の問題を若者にも分かりやすくVTRで解説されていたのは良かったが、もう少しスタジオ部分の演出に工夫があればと思いました。

9 番組 情報・バラエティ 放送局：毎日放送 製作会社：MBS企画

住人十色 家の数だけある家族のカタチ #725「沖縄で人生をリスタート! 夢の1本足のコンクリートハウス」

●特徴のある住まいとともに、カミングアウトした家主の澄んだ笑顔が心に残る。多様な生き方、頑張りすぎない生き方など、今の社会にポジティブなメッセージを押し付けがましさにさらりと投げかける秀作。●「家を見ると人が見える」まさに企画意図通りの内容。VTRだけでも成立するのに、「スタジオで観る」お二人のやさしいコメントも魅力になっていると思いました。●住人のキャラクターがよく、頑張るのをやめる事で気づいたという「心の余裕」からイキイキした姿が映像から滲み出ていました。●「がんばるのをやめる」というキーワードや、沖縄に移住して開放的になってカミングアウトした住人が、今の時代と多様性をよく描いているなど感じました。●沖縄ならではの住宅を紹介されているだけでなく、そこに住む人の豊かな人生を紹介されていて人生のヒントがたくさん詰まった番組だった。

10 番組 情報・バラエティ 放送局：NHK大阪放送局 製作会社：放送映画製作所

巨大魚&幻の魚を追え! ナニワの魚を大調査! 第5弾

●なかなか見られない関近近くの海中の様子のドローン映像は貴重。大阪湾の魚を通して環境を考えるきっかけにも。和歌山のカジキ釣りは圧巻の迫力で、撮影陣の執念を感じる。●関係者の皆さんの前向きな思いが呼び込む奇跡。魚や海洋環境についても学べ、丁寧な企画・リサーチでシリーズ化。まだまだテレビに可能性を感じる番組でした。●スタッフのチームワークには感動を覚えた。改めて海や自然の未知なる世界に興味を持つことのできるドキュメントでした!●釣り番組を長年続けている放送映画さんならではのテクニックと演出が生きていました。カジキの吻が稚魚の時からあるなどへぇ〜情報も細かく入って見応えがありました。●海の中の貴重な映像を丁寧に撮影されており、なぜ豊かな生態系になっているのかも分かりやすかった。さらに幻の魚を釣るという人気の釣り要素もあり、さらにそれを食すという牽引力があり視聴者を逃さない構成でした。

11 番組 情報・バラエティ 放送局：NHK大阪放送局 製作会社：放送映画製作所

超体感! 四国 お遍路の旅

●お遍路ガイドの決定版といえる。歴史や由来がドラマティックに語られ、美しい自然の風景や資料映像がふんだんに盛り込まれ、掛け合いのナレーションも絶妙で、お遍路を歩く人、それを支える人の表情も描かれる、極めて高い完成度。●これまで漠然とあったお遍路のイメージ・本質が理解できた気がする内容でした。歩く人、見守る人、背中を押す人。千年以上も続く営みは、様々な人の思いで受け継がれている。元旦にふさわしい企画。●圧倒的な映像美と情報量の多さ。細かい取材、丁寧な説明、豪華な俳優の掛け合いナレーションで長尺なのに飽きることがない作り。お遍路の旅をテーマに四国の魅力が満載の欲張りな番組でした。●主観ドリーのお遍路さん目線の映像が没入感を作り出していました。カタログ的にスポットを紹介するのではなく、お遍路をする旅人の人生や「何故お遍路をするのか?」という部分に深く切り込んで取材しているので見応えがありました。●映像がダイナミックで美しかったのが印象的。札所ごとの特徴をわかりやすく紹介されており、お遍路さんを回っていらっしゃる方と地元の方との心温まるふれあいが丁寧に描かれており見ているこちらも心が温まりました

12 番組 情報・バラエティ 放送局：讀賣テレビ・日本テレビ系全国ネット 製作会社：レジスタエックスワン

別に知らんでええねんけど... 誰かに話したくなる11個のこと

●これだけなんでもネットで調べられる時代の盲点を突く企画。テーマも多岐に渡っていて飽きさせない。カラフルなスタジオセットやテロップがほのぼのする。●企画はおもしろいと思うのですが、落とし込み方が難しい。タイトルにあるように知らなくてもいいことなので、結果がどうであっても問題無いはずなのに、結果にどうしても釈然としないと感じる部分があった。●「新しい雑学」として、どうでもいいことを真剣に調査していただいて心から「ありがとう」と思えました。●ネタはどれも見応えがあり面白かったです。ただ、ミシュラン三つ星シェフの最後の晩餐については、食に真摯に向き合っている料理人に対して少し失礼に感じました。同じインタビューを使ってもスタジオの出演者の受け止め方の方向性など、もっとポジティブに持って行ける演出があったのではと思いました。●タイトル通り別に知らんでもいいことだけど、知れば話したくなる情報が詰め込まれた番組でした。スタジオのカメラ割も凝っていたのも良かったです。

13 番組 情報・バラエティ 放送局：CBCテレビ 製作会社：レジスタエックスワン

太田×石井のデララバ 東海地方のド定番 なぜそこまで愛される?

●一宮という限定的地域のモーニングにとことんこだわって深掘りし、発祥の店まで突き止めていく取材力が素晴らしい。新店への密着もよかった。●ワンテーマの掘り下げ方、地元の方がメインMCと同じ並びで語る設定。収録場所も会議室か応接室でしょうか。内容が面白ければ、MCテーブルもひな壇もセットも不要! テレビ番組の原点、あり方を示している!●ここまでモーニングを徹底調査すると面白い。掘り下げた取材力と調査力に脱帽!●同地区で100軒以上の喫茶店を調べ尽くすというリサーチ力に感服しました。足で探した努力の情報が番組の深みになり、細かく丁寧に取材が結実していると感じました。昨今のネットで集めた情報だけで制作する番組とは一線を画す内容でアツパ!です。●名古屋の喫茶店文化は良く紹介されていますが、この番組独自の情報が更に出てきた取材力には感心しました。

14 番組 ドラマ 配信アプリ:BUMP 製作会社:メディアブルポ

私、サレ妻ですらなかったんや。

●悪党キャラ設定の振り切りぶりに、最後は水戸黄門的すっきり感を視聴者は得たのではないか。コミックを読むような縦長実写ショート動画は、隙間スマホ視聴の可能性があるかもしれない。●脚本はもとより、縦型ならではの構図も面白かった。テレビ以外の制作会社の可能性のひとつを感じることができた。●スマホで手軽に見られるドラマにピッタリな次が気になるストーリー展開で面白かった。●縦型サイズならではの画作りと、1本ずつ引っ張って「次々と観たくなる」中毒性を持たせる脚本、ばらまいた伏線をしっかり回収していきながら、加速度的に盛り上げていく演出が素晴らしいと思いました。●携帯で見られる縦画面で1本の時間が短いので隙間時間で見られるのが良い。通天閣のビューティーカットにも大阪へのこだわりを感じられました。最後に大阪姉妹の絆を感じられスッキリしました。

15 番組 情報・バラエティ 放送局:スカイA・朝日放送テレビ 製作会社:エー・ピー・シー リブラ

登山で頂きメシ!

●低山ハイクの気軽さと楽しみを感じつつも、メインの頂メシへの待ち遠しさが募る。平山さんのワイルドな魅力がやさしい語り口とともに感じられる。●地上波とは違ったテストで、自分も山登りをしている気分になれるカメラワークやゆったり感がいい。未経験者でも体験できそうな「低山」を選び、あくまで出演者の一人喋りだけにしているのも好感が持てる。●余計な演出を排除したことで、自然の魅力、景色の映像に引き込まれます。低山の魅力が満喫でき、疑似体験できる魅力のある作品だと思いました。●爽やかな清流や鳥の鳴き声などを随所に生かして、ハードな部分は出演者の呼吸で表現するなど、視聴者が登山の疑似体験が出来る面白い番組ですね。平山さんの登山に向き合う誠実・実直な人柄に好感を持ちました。●山の紹介とファッション、更には山頂で頂けるグルメの紹介と情報をコンパクトに伝えているのが良かった。

16 番組 情報・バラエティ 放送局:NHK大阪放送局 製作会社:レジスタエックスワン

探検ファクトリー

●新札発行のタイミングでなかなか見られない国立印刷局の内側という貴重な映像に視聴者の関心も高いはず。工芸官という知られざる技術の存在には驚きもあった。●様々な日本のものづくりの技やこだわりを3人のMCが楽しく紹介してくれるので、個人的には好きな番組。普段、なかなか公開されていない部分まで取材できる「NHKブランド」は、制作者としてうらやましい。●新札が発行された今年にピッタリな企画。改めてお札が「最高の技術の結晶」だという事を知り、見て得した気分になりました。●偽造防止や工芸官の技など日本独自の技術が丁寧に取材されていて見応えがありました。ティーバッグと同じ防水性がある材料が紙幣に使用されているなどへえ~と思う情報が満載でした。●普段見ることの出来ない紙幣作成の工場という絵力もある内容でした。お札のデザインがどのように描かれているのかお札の質感はどのように作られているかなど偽造防止についての細かい取材でわかりやすく伝えられていた。

17 番組 情報・バラエティ 放送局:BS朝日 製作会社:エー・ピー・シー リブラ

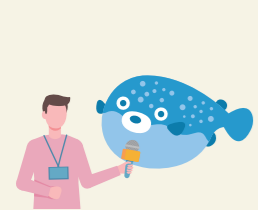
魚が食べたい!~地魚さがして3000港~ 徳島県 出羽島漁港

●漁業アカデミーの試みとそれで実際に移住した人の現状が興味深い。出演が取材Dなので、魚や料理そのものと島の人たちの表情をメインに映像編集されており、島の人たちの様子が伝わりやすい。●漁だけでなく島の人達の営み・人柄までが感じられる。自分の手で獲った自慢の魚を早く味わって欲しい。そんな熟練の漁師さんの思いもおもしろかった。●ディレクター目線の自然な島の生活の取材が秀逸でした。本当の贅沢な料理とは、ここでしか食べられない料理なんだと気づかされました。●離島の漁港の皆さんののどかさ、温かさが良く伝わる構成でした。ディレクターが人柄も感じさせるくらいしっかり出演しているので、衣装の工夫(番組オリジナルのツナギにするなど)演出がある方がいいのではと思いました。●島の人達と移住してこられた方のふれあいも感じられ、人となり分かる内容でした。釣りの場面も見応えがあり、どのお魚料理も美味しそうでそこでしか食べられない料理に引き込まれました。

18 番組 情報・バラエティ 放送局:NHK大阪放送局 製作会社:ダイメディア

祝!甲子園100祭 みんなで選ぶ名場面100

●充実したアーカイブのなせる番組。視聴者の投票ベースというのも期待感がある。“奇跡のバックホーム”の検証は圧巻。数々の感動を生み出した甲子園の偉大さがわかる。●1位2位こそ、ゲストのコメントを聴きたかった。上位になるほど駆け足になり、盛り上がりずに終わった気がする。出演者用のモニター隠しをはじめスコアボード風の背景など、セット使いは甲子園の大きさを感じさせた。●甲子園100周年に相応しい企画。各時代を作った甲子園のレジェンド達の記憶に残る名シーンはもちろんスタジオのレジェンド達の貴重なコメントも楽しめました!●大谷、松井、松坂の高校生時代の活躍など、さすがのNHKならではのアーカイブの厚さで成立する番組で見応えがありました。かわり氷の誕生などサイドネタも織り交ぜながら飽きずに観させる構成が出来ていました。



第12回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント

【短編・コーナー部門】 ※応募用紙を基に掲載

1 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:関西テレビ 製作会社:ダイズ

よ〜いドン!ロザンのうんちくん

●改めてディズニールンドの楽しみ方がわかる楽しいVTRでした。うんちクイズの情報もために次回訪問の際には確認したい。もう少しうんちクイズなかったのかなと思いました。●ディズニーの裏側を見せる番組は数あれど、インサートやナレーションの入れ方など、丁寧にディズニーの「うんちく」がわかりやすかったです。良い意味でディズニーの華やかさで押し切ることなく、知的な好奇心も満たしてくれました。●内容的に仕方ないことだが、オープニング部分が少し長く感じた。ただ、制約も多く、視聴者の思い入れもマチマチの中、うまくまとめられている。●8年続く人気コーナー初のディズニーロケということで、あまり関心がない人・初心者でも行きたくないような情報・見せ方がよかった。ロザンもとても楽しんでおり、現場の空気感の良さが分かる。●ディズニーリゾートの楽しみ方と「うんちく」のクイズがテンポよくまとまっていました。視聴者も一緒に楽しめるレベルのクイズ選択、アトラクションを体験しているような感覚になる映像の見せ方など工夫が感じられました。

2 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:讀賣テレビ 製作会社:ブリッジ

かんさい情報ネットten. あなたの味方!お役に立ちます!おじいちゃんが亡くなる前に書いた詩に曲をつけてほしい!

●泣いちゃいました。お孫さんの思いだけでなく、お母さん、おばあちゃん、家族全員それぞれの思いがちりばめられた感動の作品です。tenの「めばえ」の歌手に作曲を依頼したのもよかった。とてもいい歌で、お役に立ててました。●亡くなったおじいちゃんの思いと家族の愛がとても感動的でした。ロケを1日で成立させる製作サイドの事情をお察ししつつも、愛に溢れた内容と素晴らしい曲でした。同業者としてついアラ探しをしてしまい「もったいない」と感じましたが、純粋に感動的な良いVTRであることは間違いありません。●祖父のキャラはしっかり伝わってきたが、祖父の声を聴いていないから、少し感情移入の前に壁があった。詩も少し難しい…最後は、歌の良さとスタジオのコメントが抜群なので、きれいな仕上がりに収められている。●おじいちゃんへの、愛にあふれるVTRで感動した。ディレクターご家族への向き合い、信頼関係がなせる技かと。浅越ゴエさんの言葉の引き出し方も素晴らしく、取材者、視聴者にとっても、深く心に残るVTRに。●“家族の愛”を感じる企画。「おじいちゃんの中身は8才くらい」という孫の作文、笑顔の家族写真などが効果的に使われ、おじいちゃん存在の大きさが伝わりました。構成・演出もよく、家族のあり方を考えさせられる作品でした。

3 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:毎日放送 製作会社:レジスタエックスワン

発見!仰天!!プレミアもん!!!土曜はダメよ! 肴クイズ!~ひとり呑みの世界~

●次の肴何にしよ?と悩んでいる時が酒飲みの至福の時、そんな酒飲みにはたまらないクイズ。一緒に考えてしまい飲みに行きたくなりました。●土曜の夕方にこのコーナーはピッタリですね。企画としてはシンプルなもの、料理インサートの上手さに一人飲みのお客さんのドラマが垣間見えて、VTRとしても見応えがあり、いろんな酒場といろんなお客さんが見たくまりました。●VTRに入るまでの後藤さんのツッコミが鮮やか。タイトルも途中で笑ってしまふ。視聴者にも、スーパーではなく、メニューをそのまま見せているのが臨場感あっていい。自分もお酒を飲みながら見たい。店の人との絡みもいい。●お店を紹介する番組はたくさんあるが、ひとり呑みで注文する肴をクイズにして、みんなでその場で飲むような錯覚になるような撮影の仕方、構成が素晴らしく、力を抜いて楽しく見られるVTRだった。●「一人呑み」で客が何を注文するのかを予想する一風変わった視点の企画。客と店主の様子をモニタリングしながらのクイズ、素人さんから引き出す人間模様面白い。料理の映像もおいしそうでこだわりを感じました。

4 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:毎日放送 製作会社:レジスタエックスワン

あれみた? メニュー名だけで金額予想!4人連続金額アップで1万円!

●今後、居酒屋でみんなで楽しむようなゲーム、4人の芸人がざっくばらんに仲良く楽しんでる様子が深夜気楽に見れそう。●予算内で効率的にコンテンツを作ることは必須条件です。美味しそうな料理とその値段を考えたいくなる構成で、ロケ時間やカメラの台数も最小限に抑えられています。一方、編集にはしっかり手間をかけており関西での番組作りの参考にしたいと思います。●VTRの作りとして、非常にわかりやすい。ドボン役、それを突っ込む役ときれいにわかれていて素直に見ていておもしろい。欲をいえば、2回目のターンがごく普通に流れてしまった。ここに盛り上がりがあれば…。●スマイルとアインシュタインの相性もよく、お店で4人が座って話しているだけで面白い。視聴者にとっても身近で一緒に考えやすい流れになっており、瀬戸さんの2度目の同額は奇跡で、オチも素晴らしかった。●金額を当てるというルールはシンプルながら、視聴者も一緒に予想する楽しさがある企画。出演者のトーク、テンポ感もよかったです。料理の最低・最高金額、メニュー数はどのくらいあるのか知りたい気もしました。

5 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:毎日放送 製作会社:レジスタエックスワン

あれみた? 【衝撃】山田花子がオシャレママに大変身!家族でサプライズを仕掛け合うダブルドッキリ

●山田花子さんの普段見れないお母さん、妻の顔が見れたのが新鮮でした、変身したお母さんより前の方がいいといった子供たちがほっこりしました。●定番の企画も一工夫加えれば新しい発見があるという興味深い番組でした。結果としてサプライズ大成功!とは行かなかったものの番組として成立させたところはディレクターの手腕だと思います。●山田花子さんの個性が強く、変化が少し分かりづらかった。よくある変身&サプライズのパターンなので、もう少し工夫が加わるとさらに良かったと思う。番組主導を強く感じたので、家族の思いが形になる場面があるのもっとよかった。●山田花子さん家族のダブルサプライズ!吉田たちの兄弟がそれぞれロケするというで内容盛りだくさんだった。花子さんの変身は参考になる情報もしっかりあり、ご家族の自然体な様子が撮影できているのがよかった。●花子さん変身のポイントは視聴者の参考にもなる情報。子どもたちの表情や素直なコメントがリアルでよかったです。ケーキの仕上がりか、変身した花子さんかどちらかを隠してWDッキリの時に披露する形もアリかなと思いました。

6 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:朝日放送テレビ 製作会社:エー・ピー・シー リブラ

おはよう朝日です 『関西全力応援!あなたの夢叶えます』マーチング編

●感謝の気持ちを伝えるというだけなのにとても心が動かされる作品でした。超大作なので時間の都合上仕方ないですが一気に放送されればもっと感動できたと思います。●大勢を巻き込んでのサプライズはディレクターとしてはかなりピピットと思いますが、その分、成功したときの興奮は何にも代えがたいものだったと思います。作品を完成させる上で、スタッフと取材協力者の信頼の構築や準備がいかに大切か改めて思い知る作品でした。●主人公と先生との関係性がもう少し見えれば、手紙のシーンがもっと自然に感じられたと思う。冒頭の曲の部分が途中で触れられなかったのが少し残念で、あの流れを通して見たかった。●陽央里さんの魂のメッセージ、とても心に響きました。澤田アナの向き合い方も良くて、おはよう朝日が長く続いている理由が分かる気がした。素晴らしい人との出会いでテレビは作られるのだと改めて思えたVTRだった。●人前が苦手な陽央里さんが自ら行動する姿、先生の写真を見てあいさつの練習をする様子などを見て応援したくなりました。陽央里さんを突き動かすもの、音楽を通して先生から子どもたちに伝えたいメッセージももっと知りたくなりました。

7 短編・コーナー 情報・バラエティ 放送局:テレビ大阪 製作会社:ダイメディア

やさしいニュース 特集 万博「いのちの遊び場クラゲ館 その全貌が見えてきた!」

●関西万博の縁の下の力持ち的な人物に焦点を当てた一見地味な企画だが、万博の本当の開催の意味をもう一度考えさせられた良い作品です。●時間をかけて丁寧に取材され、短い尺とは思えない見応えのある作品でした。シーンの多さを考えると詰め込みすぎて忙しい作りになりそうですが、オンコメとナレーションのバランスの良さと、効果的なインサートの使い方ですテンポよく見やすい作品になっていると思います。●万博・クラゲ館に携わる女性の活動を、多方面からうまく描き出している。期待値を膨らませる映像ではあるし、マイナス面も含んでの映像作りは評価できる。ただ、内容としては、もう少し直前に見たかった…。●大阪・関西万博プロデューサー中島さんの生き生きした表情、考えから、身近な生活からかけ離れているように思える万博の新しい価値に気付くきっかけをもらえた。●巨額な費用面でも開催の意義が問われている万博。現状を伝え、考えるきっかけを作ることもメディアの使命だと思います。中島さんの言う万博の意味、新しい価値観は生まれるのか、ぜひ取材・検証を続けてほしいです。



第12回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント

【新人部門】 ※応募用紙を基に掲載

1 **新人** 情報・バラエティ 放送局:eo光チャンネル 製作会社:ブリッジ

菅原 優美 **すがはら ゆうみ** **アキナのぶっちゃけていいんじゃない** 『ロマンの宝宝箱♪気分アがるビル』

●ビルにハマる感覚が最初は分からなかったが、話を聞いているうちに分かるような気がしてきた。今度通った時に、それぞれ注目したくなるマニアならではの説得力でした。浪花版タモリ倶楽部。BARの雰囲気なのでもう少し照明を落としてもよいかと思いました。●「マニア」と呼ばれる人たちの偏愛ぶりは興味深いが、ある一線を超えてしまうと視聴者の気持ちが離れてしまう。普段目にしている「ビル」のマニアというのが絶妙なチョイス。マニアのお三方の語り口調もお上手で思わず聞き入ってしまった。どういキャラクターのマニアに出演してもらうか、の判断も演出の上で大切な要素なので、その点でも成功しているのではないかと思います。●かなりのマニアックな内容であるが、アキナの2人がもっと関心を持っている感じが伝われば良かったと思う。一般の方のトークを中心に番組を構成すると、どうしても少し飽きてしまうことがあります。確かに、トークが上手な3人ではありますが…。●かなりマニアックな内容だったが、ビルの魅力を楽しそうにお話される3人のゲストの語りにはきこまれた。アキナが視聴者の気持ちを代弁してくれていて、とても分かりやすく、ビルに親しみが持てるようになった。●「ビル」というちょっとマニアックな世界でしたが、駅チカの建物も多く紹介され、視聴者も興味を持ちやすい内容だと思いました。国の文化財指定のビルや窓の形など豆知識も豊富で、建物を意識して見たいくなる企画でした。

2 **新人** 情報・バラエティ 放送局:毎日放送 製作会社:MBS企画

小林 和樹 **こばやし かずき** **西乃風プラン堂**

●大阪柏原のまだまだ知らないこと、隠れたトンネルやぶどうの産地などをとてもポップに丁寧な構成で紹介されてとても見やすい作りになっていました。柏原市行ってみたいくなり、ワイン買いたくなりました。●一見POPな作りではあるが、実は1つのテーマを深掘りし現代社会に鋭くメスをいれるような硬派な番組だと思いました。真摯に向き合い信頼関係を築いていった結果が情報の厚みとなり、とっつきやすく分かりやすい番組ではあるものの、視聴を進めていくとその中に隠された深みを感じさせる演出が興味深かったです。●シャインマスカットの絵画が強く、冒頭のデラウェアの紹介内容が飛んでしまった。また、番組のテイスト的に仕方ないことかもしれないが、登場人物の魅力的な人柄が活かされてないのは、もったいない。●大阪府でぶどうが獲れるイメージがない中、若手農家が奮闘している状況がよく伝わった。大阪でもマイナーな柏原市にある日本遺産の紹介、デラウェアの歴史、ワインの地域に根ざした取り組み等を丁寧に取材していた。●大阪でブドウ栽培が盛んだとは知りませんでした。生産者減少の現状と打開しようという動きは番組コンセプトそのもので、大阪らしいワイン「たこシャン」も気になります。今後あまり知られていない地域の魅力に光を当ててほしいです。

3 **新人** 情報・バラエティ 放送局:朝日放送テレビ 製作会社:エー・ピー・シー リブラ

吉田 一輝 **よしだ かずき** **おはよう朝日です『関西全力応援!あなたの夢叶えます』新喜劇編**

●とても大阪らしい親近感を持つる夢、思わず見入ってしまった。カベポスターのポケのコツや寛平さんのギャグの真髄、さすがプロ。新喜劇がうまいいくのかワクワクして次回が楽しみになって最後まで見てしまいました。新喜劇面白かった。●小6女子は密着取材において、とても神経を使い誘導も難しいと思います。ほたるさんが見せた表情、初めて取材された喜び、憧れの芸人さんに会えた興奮が、D取材の稽古風景からどんどん変わっていくのがとても印象的でした。ほたるさんの成長とその姿を見逃さず追い続けたディレクターの距離感と粘りが素晴らしいです。●依頼者が小6とはいえ、さすが関西人と思えるキャラクター。弾ける部分と真剣な部分のバランスがうまくとれていて、続きが見たいなる作品。難しいところだが、進行役のカベポスターがあまり目立ってないのは残念。●島田珠代さんのパワーが炸裂していた。小6のほたるさんや仲間もとても活き活きしていて、関西人らしくいいコーナーだと思った。子どもの取材はとても難しいと思うが、信頼関係が築けているのが分かった。●子どもたちの姿を通して関西の“笑いの文化”を感じる企画。「新喜劇で笑わせたい」とリベンジに燃える少女と応援する大人たちの距離感がよく、元気をもらえる。披露した新喜劇も面白く、「夢は歌手」というオチ(笑)もよかったです。

4 **新人** 情報・バラエティ 放送局:讀賣テレビ 製作会社:レジスタエックスワン

増田 恒輝 **ますだ こうき** **発見!仰天!!プレミアもん!!!土曜はダメよ!教えて!ママのラブメモリー**

●皆さんとてもドラマチックなラブメモリーがあるもんだなと驚きました。時代を感じさせる話やエモい写真、青春時代を思い出させてくれる作品です。映像の工夫、音楽、漫画の採用などがとても印象的でした。●親の恋愛話を聞いてみたいと思ったこともなければ、自分が親になって我が子に聞かせたいと思ったこともないので、かなり衝撃的な企画でした。企画として思いついても出演してくれる人はいないだろうな〜で終わってしまいそうですが、実現できることを疑わない感性と実行力に、若さの強さを感じました。●告白シーンと回想シーン、漫画のバランスがちょうどよくて、楽しく見ていられる。BGMで使われている曲がピンポイントの世代にも、若い世代にもマル。出演者も2組でちょうどいい。夫の出演がないのもいい。秀作。●ママ世代の視聴者も楽しめるような当時の流行りの懐かしさも共感させつつ、マンガも取り入れ、若い世代も見やすい工夫ができているVTRだった。●家族の物語を「漫画で描く」という斬新なアイデア。「人生の第〇章」というテンポ感のある構成、当時の流行り歌を入れるといった視聴者をひきつける工夫があることで、恋バナが家族で楽しめる企画になったと思います。

5 **新人** 情報・バラエティ 放送局:関西テレビ 製作会社:よしもとブロードエンタテインメント

井上 天翔 **いのうえ てんしょう** **マンゲキマインドマッチ 若手芸人心理王決定戦**

●ゲーム自体があまり見たことのない斬新なものばかりで面白かった、心理戦が入るのがポイントで楽しく見れた。よく考えられたゲームだった。●若手芸人が集まる賑やかな番組は活気がありますが、この番組は「これから活躍するであろう若手芸人をあぶり出す」という裏テーマを隠さず見せている。収録は長時間だったかと思いますが、編集段階で裏テーマを表する大胆な判断があったのでしょうか?その英断がただ若手が集まる楽しい番組とは一線を画している。●内容的には文句なしにおもしろい。優勝までのストーリーも完璧。ただ、演出側に非はないと思うが、やはり、もう少し女性コンビが欲しい。収録時間等の関係もあるだろうが、もう少し丁寧にサバイバル戦を見たかった。●若手芸人たちが、体を張って頭も使って、探り合う戦いが面白かった。ワイプのツッコミもきいていた。芸人たちとディレクターとの普段の信頼関係があつてこそ。関西のお笑い文化はまだまだ健在だと思った。●関西ならではのお笑いの企画。ミドルワードは視聴者も「自分ならどの3文字にするか」一緒に楽しめる要素もありました。芸人さんがゲームの中で繰り広げる「笑い」をしっかりと切り取り、作り手のお笑い愛が伝わりました。

6 **新人** 情報・バラエティ 放送局:朝日放送テレビ 製作会社:エー・ピー・シー リブラ

半田 祥基 **はんだ しょうき** **新婚さんいらっしゃい!夫80歳・妻81歳…61年越しの恋**

●新婚さんいらっしゃいの歴史の中でもとても珍しい80歳の新婚さん、番組の歴史と懐の深さを感じました。とても感じのいい夫婦、出演にあたってDのレクチャーや丁寧な取材の賜物だと思います。●言うまでもなく、日本を代表する長寿番組。面白い新婚さんのエピソードを引き出すこの番組の根幹を守りつつ、見せ方で新しい味付けを加えている。伝統と新しい試みのバランスが良い作品だと思いました。●素材の良さは文句なし。番組としてのクオリティも高い。ただ、ディレクターとしての演出部分の評価となると非常に難しい。手紙の披露もありがちではあるし…。何か、1か所でもいいから、目を引く演出がほしかった。●80歳の新婚夫婦。誰もが羨ましく思うような夫婦仲を見ることができて、とても励まされた。2人の奇跡も、取材VTRやトーク、手紙で丁寧に描かれていて、感激した。●「80代の新婚さん」をどう紹介すべきか、悩んだと思います。披露するエピソードや手紙からご夫婦の人柄やチャーミングさが自然と伝わる演出で、いつまでも恋する気持ちを忘れないことは素敵、家族っていいな、と感じる内容でした。



■**審査委員** ※敬称略、五十音順

審査委員長
脇浜 紀子(京都産業大学 現代社会学部 教授)

【番組部門】
梅景 泰利(ジェイワークス 代表取締役社長)
岡崎 雅哉(東通企画 執行役員 大阪制作センター長)
西村 麻耶子(キョウ・クリエイト 代表)
平井 直人(ダイズ 代表取締役)
脇浜 紀子(京都産業大学 現代社会学部 教授)

【短編・コーナー部門／新人部門】
鹿島 我(京都光華女子大学短期大学部 教授)
重信 好輝(クラッチ、取締役)
橘 庸介(レジスタエックスワン 代表取締役社長)
谷口 美希子(MBS企画 制作部副部長)
山之内 倫子(エー・ピー・シー リブラ プロデューサー)

■**投票社【ATP関西会員社17社】**

エー・ピー・シー リブラ	ジェイワークス	放送映画製作所
エキスプレス	ダイズ	メディアプルポ
エスエスシステム	ダイメディア	よしもとブロードエンタテインメント
MBS企画	ディーレック	レジスタエックスワン
クラッチ、	東通企画	ytv Nextry
クリエイティブ・ジョーズ	ブリッジ	

■**投票校【14校】**

大阪芸術大学 松澤 真木 教授 学生の皆さま	神戸市外国語大学 山本 昭宏 准教授 学生の皆さま
大阪公立大学 石田 佐恵子 教授 学生の皆さま	奈良女子大学 山崎 明子 教授 学生の皆さま
関西大学 齊藤 潤一 教授 学生の皆さま	羽衣国際大学 早岡 英介 教授 学生の皆さま
京都光華女子大学短期大学部 鹿島 我 教授 学生の皆さま	専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー 放送・映画学科の皆さま
京都産業大学 脇浜 紀子 教授 学生の皆さま	佛教大学 大場 吾郎 教授 学生の皆さま
近畿大学 杉浦 徹 教授 学生の皆さま	放送芸術学院専門学校 TV番組制作コースの皆さま
甲南大学 西村 順二 教授 学生の皆さま	大和大学 長野 真一 准教授 学生の皆さま



【受賞式】

■**司会進行**

大吉 洋平(毎日放送アナウンサー)
上原 美穂(テレビ大阪アナウンサー)

■**会場**

MBSちゃやまちプラザステージ(大阪市北区)

■**協力**

毎日放送 MBS企画
エー・ピー・シー リブラ メディアプルポ レジスタエックスワン

